

【製剤ラベル：既存製剤との主な相違点】

1. 赤血球製剤及び全血製剤（例：400mL採血由来照射赤血球濃厚液-LR「日赤」）

白血球除去製剤

有効成分の名称と分量を簡潔に記載
(4ページ参照)

試験用血液に含まれる製剤由来の血液保存液はすべてCPD液
(3ページ参照)

略号
(Ir-RCC-LR-2)を表記*
(4ページ参照)

献血

採血国：日本

照射赤血球濃厚液-LR「日赤」

(人赤血球濃厚液)

B^{D(Rho)}型

陽性

成分：本剤1袋中に、血液400mLに由来する量のヒト赤血球を含有するほか、赤血球保存用添加液（MAP液）約92mLを含有する。

(MAP液)

D-マンニトール	14.57g
アデニン	0.14g
リン酸二水素ナトリウム	0.94g
クエン酸ナトリウム水和物	1.50g
クエン酸水和物	0.20g
ブドウ糖	7.21g
塩化ナトリウム	4.97g

注射用水を加えて溶かし、全量を1,000mLとする。

交差適合試験用血液（セグメントチューブ）：製剤由来のCPD液を含有する。

貯法：2～6℃で貯蔵する。 2~6

注意—医師等の処方せんにより使用すること。生物学的製剤基準・通則45に規定する輸血用器具を使用すること。外観上異常を認めた場合は使用しないこと。

Ir-RCC-LR-2

製造販売元 **日本赤十字社**
所在地 東京都江東区辰巳二丁目1番67号

特生物

製造番号

採血年月日

最終有効年月日

*略号中の数字の『1』は200mL採血由来を、『2』は400mL採血由来を示します。

〔既存製剤〕（例：400mL採血由来照射赤血球M・A・P「日赤」）

製造方法の要旨を記載
(4ページ参照)

試験用血液に含まれる製剤由来の血液保存液は赤血球製剤はACD-A液、全血製剤はCPD液
(3ページ参照)

由来する採血量(400mL)を表記(4ページ参照)

献血

採血国：日本

照射赤血球濃厚液

(人赤血球濃厚液)

B^{D(Rho)}型

陽性

成分：本剤は、ヒト血液400mLから血漿及び白血球層の大部分を除去した後、赤血球保存用添加液を約92mL加えたもので、放射線を照射してある。

(赤血球保存用添加液)

D-マンニトール	14.57g
アデニン	0.14g
リン酸二水素ナトリウム	0.94g
クエン酸ナトリウム	1.50g
クエン酸	0.20g
ブドウ糖	7.21g
塩化ナトリウム	4.97g

注射用水を加えて溶かし、全量を1,000mLとする。

交差適合試験用血液（セグメントチューブ）：採血由来のACD-A液が含まれている。

貯法：2～6℃で貯蔵する。 2~6

注意—医師等の処方せんにより使用すること。生物学的製剤基準・通則45に規定する輸血用器具を使用すること。外観上異常を認めた場合は使用しないこと。

Ir-RCC-M・A・P

製造販売元 **日本赤十字社**
所在地 東京都江東区辰巳二丁目1番67号

特生物

製造番号

採血年月日

最終有効年月日

6

5